

平成 18、19 年度大気中のアスベスト濃度調査結果

一般大気環境中のアスベスト濃度の実態を把握するため、平成 18 年度に 6 地点、平成 19 年度に 5 地点について調査を行った。

あわせて、平成 19 年度、県内で特定粉じんに係る除去工事等の届出のあった作業場周辺 10 地点についても調査を行った。

その結果は以下のとおりであり、一般環境中の濃度は、過去に行った同地点での測定値と同程度であり、除去工事作業場周辺についても一般環境と同程度であり、いずれも大気汚染防止法が定める敷地境界の基準（10本/L）^(注1)未満の低い濃度レベルであった。

1 測定方法

試料採取及び分析は「アスベストモニタリングマニュアル（改訂版）」（平成 5 年 12 月環境庁大気保全局大気規制課）及び「同マニュアル（第 3 版）」（平成 19 年 5 月環境省水・大気環境局大気環境課）による。

2 調査結果

①一般大気環境

1 日 4 時間 3 日間の採取で得られた 3 試料についての測定結果（平均）は表 1 のとおりで、11 地点のアスベスト濃度範囲は、ND～0.31（本/L）であった。

表 1 一般大気環境の調査結果

調査地点	調査年月日	石綿繊維数 ^(注2) (本/L)
佐賀大気環境測定局（佐賀市高木町）	平成 18 年 9 月 20 日～22 日	ND
佐賀大和工業団地（佐賀市高木瀬西）	平成 18 年 9 月 20 日～22 日	ND
住吉神社（佐賀市東与賀町）	平成 18 年 10 月 25 日～27 日	0.31
佐賀市廃棄物最終処分場（佐賀市嘉瀬町）	平成 18 年 10 月 25 日～27 日	0.15
アスベスト製品製造所跡地（鳥栖市曾根崎町）	平成 19 年 1 月 23 日	ND
長崎自動車道佐賀 IC（佐賀市大和町）	平成 19 年 2 月 17 日～18 日	ND
唐津大気環境測定局（唐津市二夕子）	平成 19 年 8 月 24 日～28 日	ND
伊万里大気環境測定局（伊万里市大坪局）	平成 19 年 8 月 27 日～29 日	ND
鹿島大気環境測定局（鹿島市納富分）	平成 19 年 11 月 28 日～30 日	ND
鳥栖大気環境局（鳥栖市宿町）	平成 20 年 2 月 17 日～19 日	ND
佐賀大気環境測定局（佐賀市高木町）	平成 20 年 2 月 17 日～19 日	ND

(注 1) 現在、大気中アスベスト濃度の環境基準が定められていないため、アスベスト取り扱い施設の敷地境界に適用される基準と比較

(注 2) 石綿濃度の単位（本/L）は採取空気 1 リットルあたりのアスベスト繊維本数で、数値は 3 日間の各測定値を幾何平均したもの

(注 3) 平成 18 年度の検出下限値は 0.12 本/L 未満、平成 19 年度の検出下限値は 0.081～0.21 本/L 未満

②工事現場周辺調査

10 地点 16 検体のアスベスト濃度範囲は、ND～0.50 (本/L) であった。

表2 工事現場周辺の調査結果

試料 No	業種	事業所	所在地	除去工事 の対象	測定場所	石綿繊維数 (本/L)
1	製造	半導体部品	小城市	吹付け材	排気口	ND
2	電力	発電所	玄海町	保温材	屋外	ND
3	"	変電所	嬉野市	吹付け材	出入り口	ND
					排気口	ND
4	通信業	中継所	神崎市	ケイカル 板	出入り口	ND
					排気口	ND
5	公共サービス	ごみ焼却場	佐賀市	吹付け材	出入り口	ND
					排気口	ND
6	教育施設	小学校	吉野ヶ里町	"	出入り口	ND
					排気口	ND
7	"	中学校	唐津市	"	1階廊下	0.50
8	協同組合	給油所	"	"	排気口	ND
9	"	事務所	"	"	2階廊下	0.29
					1階廊下	ND
					敷地境界	ND
10	"	スーパーマーケット	"	"	"	ND

(注1) 検出下限値は、0.21 本/L未満

3 参考

平成19年度に、環境省で実施された全国51地域124地点でのアスベスト大気濃度の調査結果によると、アスベスト濃度範囲は、0.06未満～1.61本/Lとなっている。